



除名を許さず、組織展望を切り拓くぞ！ 9.12集会で意思統一

JR東海労は9月12日、東京都内で「JR東海労の組織強化・拡大を勝ち取るための9.12集会」を開催しました。

JR総連は同日、統制委員会の答申に基づく第41回臨時大会を開催し、不当にもJR東海労への「除名」処分を採択したのです。今集会は、この不当処分を許さず、JR東海労の組織展望を切り拓くための意思統一を行うために開催しました。

淵上委員長は、挨拶で「統制委員会が設置されて以降、このような事態にさせないために闘ってきた。臨大の総括答弁で、除名処分の核心は『JS労の二重加盟だと』言った。JR総連の見解はJS労は一般労組であり、認めないということである。また、共済などが不利益になるような答弁を行ったが、JR東海労は組合員が不利益にならないための取り組みを行っている。今後JR総連は、JR東海労からの脱退策動を行うことが予想されるが、断固跳ね返そう。下を向くことなく、職場から闘いを展開しよう」と訴えました。

続いて、来賓のJS労柳楽委員長の挨拶を受けた後、JR総連臨時大会の報告、質疑応答を行い、最後にアピールを全体で確認しました。

